

＝いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、
市内全校に広げるために＝

令和3年度 絆づくり成果交流会 実施報告書



なかなおいマーク

令和3年11月4日（木）
滝川市立小中学校（10箇所）
滝川市役所8階大会議室

滝川市教育委員会

令和3年度「絆づくり成果交流会」

=いじめをなくし、仲間を思いやる心を小中間でつなげ、市内全校に広げるために=



なかなおいマーク

期日：令和3年11月4日（木）
場所：市立小中学校（10箇所）
滝川市役所8階大会議室

《開 会》

1 オリエンテーション 滝川市教育委員会 教育総務課主査 佐藤 憲弘

2 各学校の取組の紹介（実践交流）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ① 江陵中学校 | ② 明苑中学校 | ③ 開西中学校 |
| ④ 江部乙中学校 | ⑤ 滝川第一小学校 | ⑥ 滝川第二小学校 |
| ⑦ 滝川第三小学校 | ⑧ 西小学校 | ⑨ 江部乙小学校 |
| ⑩ 東小学校 | | |

3 感想交流（意見交換）

4 まとめ

5 講 評 滝川市教育委員会 教育長 田中 嘉樹

《閉 会》



[主催] 滝川市教育委員会

[後援] 滝川地区保護司会・滝川市PTA連合会

1. 各学校の取組の紹介

いじめ根絶・仲間づくりに向けた取組内容

滝川市立江陵中学校

『創～自分たちで新しく創る～』をスローガンに。

＜ 取組内容 ＞

1 校内の絆づくり『あいさつ運動』

朝のあいさつを通してコミュニケーションの活性化を図り、一日を笑顔でスタートさせる目的で実施。毎月1週間、中央廊下で生徒会執行委員（書記局＋常任委員長）12名が4人×3グループに分かれて行っている。感染症拡大防止の観点から延期している期間もあったが、江陵中学校に必要な活動だという考えから後期も実施予定である。



2 他校との絆づくり『市内生徒会 Zoom 会議』

市内中学校生徒会との交流を通して、各学校の生徒会活動の充実を図ることを目的として声をかけさせてもらった。明苑中学校は都合が合わなかったため開西中学校、江部乙中学校と3校での交流となった。内容は①生徒会役員自己紹介②後期の取り組み③質問意見の交換。あいさつ運動の効果的な取り組み方や学校祭の内容など互いの活動を知る良い機会となった。可能であればまた実施したい。



3 小学生との絆づくり『新入生説明会』

本来であれば中学校に来て学校の様子を見たり、授業を体験したりするが、感染症拡大防止の観点から小学校での実施となった。そこで生徒会執行委員がパワーポイントにナレーション音声を入れた動画を作成した。中学校生活の流れや行事、部活動などについて知ってもらう機会となった。

小学生の皆さんへメッセージ

- 中学校の勉強は毎日の授業の積み重ねと家庭学習が大事です。部活や生徒会活動との両立は難しいと思いますが、一緒に頑張っていきましょう！
- 中学校生活は、学校祭など楽しい行事が沢山あります。楽しみにしてくださいね！
- 皆さんの入学を心待ちにしております！

＜ 成果(○)や課題(▲) ＞

○今年度は『創～自分たちで新しく創る～』というスローガンのもと、校内・校外に関わらず新たな絆づくりの活動を広げられた。

▲感染症拡大防止の観点から活動が制限されることが多く、小学校との連携行事や病院訪問など、予定していた内容が実施できず残念だった。これからも活動を工夫して、「自分たちにできること」を考えていきたい。

○江部乙中学校との統合を控えているので、Zoomで顔合わせできて良かった。これからも、統合に向けて生徒会執行委員が中心になって活動していく。

子どもたちによる、いじめ根絶に向けた取り組み

〈 取組内容 〉

1 生徒が主体となっていくあいさつ運動

生徒会執行部や学級役員が中心となって、生徒玄関前で毎朝挨拶運動を行っています。

玄関に立って「おはようございます」と声をかけ合うことで、人と人とのつながりのきっかけ作りや一日を明るくすることにつなげたいと考えています。挨拶をしても返してもらえないこともありましたが、日々継続していくことで着実に挨拶の輪が広がっていると感じています。明るい挨拶の声が広がっていく、とても大切な取り組みです。

人と人とのつながりという視点では、コロナ禍に入る前は、地域の除雪ボランティアを実施し、相手のために自分ができることを一人ひとりが自発的に行う取り組みもありましたが、現在は実施できていません。現在は夏休みに小学校に勉強を教えに行く、学びのボランティアを行っています。今後はコロナ禍でもできる絆づくりを継続していきたいと思っています。



2 いじめゼロのために連携を目指す取り組み

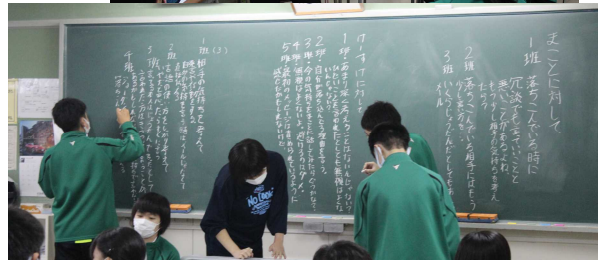
明苑中学校区では毎年継続した取り組みとなっている、いじめ撲滅集会を前年度も行いました。

今回はいじめについて考えてもらうきっかけとなるビデオを執行部が制作し、事前学習の最初に各学級で視聴しました。そしてそれをもとに小グループに分かれて、いじめ撲滅について話し合いを行いました。

話し合いでは「自分が気づいていないだけで周りにいじめにつながる言動がある」「いじめは被害者の心に一生残るからやってはいけない」という意見が出されました。その後、生徒全員がいじめ撲滅スローガンを考えました。

後日集会が行われ、小学生からのビデオメッセージやスローガンの発表が行われたあと、「みんなが英雄プロジェクト」と題して、相手の良いところを出し合いました。

いじめがだめだという認識は、生徒のほぼ全員が持つことができます。今後は「みんなが暮らしやすい学校生活」を生徒の手で作ることができるように、普段の学校生活を振り返る取り組みにつなげていきたいと考えています。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○日常的にあいさつや人と人とのつながりが大切であるということを意識させるきっかけにつなげることができています。

○生徒一人ひとりが改めていじめはやってはいけないことであり、身近にあるものだと言うことに気付くことができました。

▲今後は生徒の手で、「みんなが暮らしやすい学校生活」を作っていくようにしていきたいと考えています。

いじめ根絶に向けた全校交流と挨拶運動

〈 取組内容 〉

1 いじめ根絶に向けた取り組み

- ①「生徒会だより」により評議員会を通して絆づくりメッセージコンクールの参加を呼びかける。
- ②学級でいじめを根絶するためにどうしたら良いか話し合い、各自行動宣言を作成する。
- ③縦割り班による座談会でさらに話し合いを深める。
- ④行動宣言を日替わりで2枚ずつ各教室の黒板に掲示し、意識して行動できるようにする。
- ⑤全校生徒によるいじめ根絶集会を行い、座談会の話し合いの成果を報告し、全校での交流を行う。
- ⑥全校生徒の行動宣言を参考にして生徒会が考えたいじめ根絶のためのスローガンを発表し、校内に掲示する。3月末に全校生徒分の行動宣言もあわせて掲示する。



いじめ根絶学級討議

2 朝の挨拶運動と落ち葉拾いボランティア

- ①生徒会役員と生活委員会の担当生徒が玄関に立ち、登校してきた生徒と挨拶をする。
- ②登校時間終了5分前に音楽をかけて時間を知らせ、生徒会からの呼びかけや連絡なども行う。
- ③秋は、挨拶運動の時間に、生徒会が学校の周りの道路の落ち葉を掃除し、登校中の西小児童や地域の方とも挨拶をする。



落ち葉拾いボランティア

3 例年の取り組みや今後の予定

- ①クリーン作戦…西小と開西中（整美委員会中心）合同の縦割り班で道路清掃（今年は中止）
 - ②西小児童会との交流…西小児童会の開西中委員会参観・児童会と生徒会の交流（今年は中止）
 - ③除雪ボランティア…保体委員会を中心に縦割り班により校区の希望するお宅の除雪をする
 - ④縦割り清掃…整美委員会を中心に定期的に縦割り班による校内清掃を行う
 - ⑤異学年ドッジボール大会…生徒会主催で昼休みの異学年交流を企画・推進する
 - ⑥副会長による相談受け付け…過ごしやすい学校にするために定期的に行う
- ・その他、総合学習のスクールカウンセラーによる授業で「自分の気持ちを上手く伝えてトラブルを回避する方法」や「ストレス発散法」を学ぶことで、人との関わり方を確認できたので、今後の生徒会の取り組みに生かしていきたい。

〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 1の○自分とは違う意見を聞けて他の人の気持ちを理解できた
- 1の○他学年と交流することができて交友関係が広がった
- 1の▲生徒にアンケートをとり生徒の声を取り入れて内容を改善したい
- 2の○朝玄関で声をかけられると嬉しく気持ち良く登校できるという意見があった
- 2の○コロナで交流できなかった小学生とも挨拶をすることができた
- 2の▲挨拶をしてくれない生徒に対しては、相手の目を見て言うなど工夫をするとともに、アンケートをとって生徒の意見をもとに改善していきたい。
- 2の▲挨拶に立つ側は笑顔で柔らかく挨拶するように心がけたい

学年の壁をなくすために

〈 取組内容 〉

1 朝の挨拶運動の実施

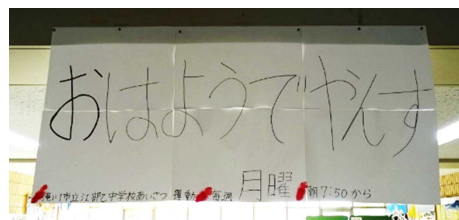
- ・朝の登校時間に合わせて、毎週月曜日にあいさつ運動を行った。生徒会執行部(7名)で、全校生徒が学年関係なく積極的にあいさつができるように、実施しました。
- ・今年度の生徒議会の議題の中で、「学年間の挨拶がうまくできていない。」「他学年と挨拶をしても返ってこない。」などの意見が出ていたため、その問題解消と、全校生徒の交流のきっかけ作りをテーマとして取り組みました。
- ・玄関前には、あいさつ運動の啓発目的のポスターを設置し、全校生徒にも認識してもらうよう取り組みました。



↑ 挨拶運動の様子 ↓ 啓発ポスター

2 コミュニティ室での活動

- ・本校には、コミュニティ室が設置されており、休み時間など、全校生徒が自由に、トランプ・オセロ・将棋などを行いながら過ごすことができる。学年で利用できる日にちが決まっている訳ではないため、利用生徒は他学年の生徒と一緒に楽しく遊んでいることが多い。
- ・後期は、コミュニティ室などで生徒会主体の企画を行い、全校生徒の交流を活発に行い、今年度の生徒会の目標の1つである「学年の壁をなくす」取り組みを行っていくことができると考えています。



↓ コミュニティ室の様子

3 生徒会企画

- ・毎年冬に、生徒会企画として全校生徒の絆を深め交流する目的で、全校生徒で交流できる企画を行っています。(昨年は中止、一昨年は体 Week、音楽集会)今年は、生徒会集会を企画し、全校生徒の絆を深める目的で行います。
- ・江部乙中学校には「いじめをしない! させない!」という目標があり、いじめ根絶に向けた「標語・ポスター作成」を作成・掲示し、いじめの啓発に取り組んでいく予定です。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- あいさつ運動を行うことで、他学年とのあいさつが積極的に行われるようになり、日常的な習慣として、全校生徒に広めることができた。
- 全校生徒が休み時間や放課後の時間などに、気軽に交流ができるので、学年関係なく仲が良い。また、各種行事などでも学年関係なく協力してスムーズに活動を行うことができた。
※生徒会の活動目標にも「学年の壁をなくす」という目標を設定した。
- ▲コロナ禍で、活動の幅が制限されてしまったせいで、当初考えていた通りに生徒会活動を行う事ができなかった。場面に応じた学年間のコミュニケーションがとれない事があった。

仲間作りのための「いい顔 いい声 いい心」を広げる児童会

〈 取組内容 〉

1 「あいさつの花」～あいさつ運動＜いい顔 いい声 いい心＞

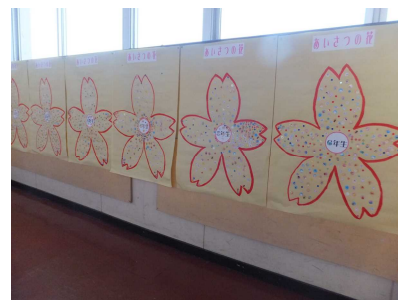
長年続いているあいさつ運動をより活発にするため、昨年度よりあいさつを返してくれた仲間にシールを渡して掲示板に貼ってもらう活動に取り組んでいます。

そのおおきなねらいは、声とともに実際にふれあうことによっておたがいの気持ちをかよわせ、「いい心」を広げていくことです。

もう一つはシールをもらう楽しさと、はったシールが目に見えていくやりがいを感じてもらうためです。

今年度は、さくらの花の形のなかに学年ごとはってもらいました。校長先生には、

「よい挨拶になってきましたね」と、言葉をかけて頂きました。



2 「笑顔スペシャル」運動＜いい顔 いい心＞

この内容の活動も数年続けています。本年度は、いつもの生活のなかで、「助けてもらった」（青色）こと「笑顔になった」（ピンク色）ことを書いて掲示しました。

どんな小さな事でうれしいと感じることができること、学校生活には笑顔になることがいっぱいあることを知ってもらいたかったのです。

そして、仲間のためにできることを考えて、実際にやってもらう。それによって、すばらしいつながりができるようにしてもらいたいです。



3 「学校あるある川柳」運動＜いい心＞

今年度、新しく取り組んだ活動です。「夏休みのこと」「学校生活」「友だち」「気をつけたいこと」など自分が体験したり、感じていることを言葉にして伝え合う取組です。

これを見て、「同じようなことがある」「わたしもそう思う」「そんな失敗あるんだ」などの感想を持ってもらい、「そう思うのは自分1人ではないんだ」という絆を感じてもらいたかったのです。なお、低学年もいるので川柳だけでなく短い言葉でもよいことにしました。

73人の児童が参加してくれました
「ステージにのぼるのだめ もうしない」
「ゲームやっていたらもう夜だ」
「学校であいさつすれば元気である」
「夏休み しゅくだいいっぱい おおあわて」

〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○全校の児童が一つひとつの取組に参加してくれたことがとてもよかった。

○活動を続けていくうちに多くの仲間とふれあうことができた。

○「ナイスアイデアプロジェクト」を通して各委員会との協力ができた。

▲少ない活動時間を大切に使う計画が必要だった。

▲反省をいかして後期の活動をよりよいものにすること。

二小をよくする会議

〈 取組内容 〉

1 『二小をよくする会議』

二小をさらに良くするために、児童一人一人が考えてほしいと思い、話し合いたいことについてアンケートをとりました。

結果、「あいさつ・廊下歩行・いじめ・コロナ対策・よりよくするためにできること・みんなでできること・相談する場所…」など、多くの意見が出されました。代表委員会で5点にしぼりました。

2 5つの項目について、一人一人が考えたことをふせんに書き、その中から、何について相談するのかを決め、学級会で話し合いました。【会議内容】

1. なんで、あいさつをするのか
2. コロナ対策（自分たちができること）
3. ろう下の歩き方
4. よりよい学校にするために

（なぜいじめはダメなのか・相談する場を作ろうなど…）

5. 何でもできる学校にするために

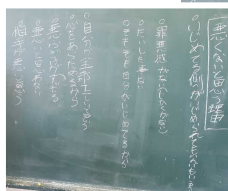
3 話し合ったことは、代表委員会で代表委員が発表し、全校に掲示で知らせました。

4 絆を強めるために、『話し合いたいこと・やりたいことbox』を設置し、低学年から高学年までが、みんなで取り組めるものを考えていきます。

出された課題について、今後代表委員会を中心に検討する予定です。



4年生以上の各学級で



話し合いました



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

- 前期は4年生以上でしたが、一人一人が考え、学級で話し合うことで、みんなが第二小学校をよくするために考えることができました。
- 掲示をすることで、全校のみんなが見ることができ、いろんな考えがあることを知ることができました。
- ふせんを使うことで、多くの人の意見を知ることができました。
- コロナ渦で、みんなが集まれない中、意見交流ができたことが良かったと思います。
- ▲ コロナのため、緊急事態宣言になり、委員会活動が一か月間できませんでした。そのため、最初の計画より活動が遅くなってしまい、学級で話し合う時間が少なくなっていました。また、掲示だけでなく、ビデオ放送で話し合われたことを発表する予定でしたが、後期の活動時期になってしまい、できませんでした。

「絆づくり」「異学年交流」を中心とした自主的活動

〈 取組内容 〉

1 児童会役員による児童玄関前での挨拶運動

『絆づくりの原点は、声を交わすことから』を合い言葉に、数年来継続して行っているのが、児童会書記局が中心となって行っている「あいさつ運動」です。緊急事態宣言中は、「手を挙げ合って心を通わせる」など、その時々に応じて工夫しながら行ってきました。今では、あいさつの声が学校中に響くようになり、学年を越えた交流や会話も増えてきているように感じます。



2 書記局が中心となって行っている「絆づくりプロジェクト」

「学年を越えて、学校全体で交流すること」を目的として継続的に行っているのが「絆づくりプロジェクト」です。

歴代の書記局から引き継いでいるもので、「自己紹介カードを交流のきっかけとする絆づくり」や「感謝の気持ちをカードで伝え合う活動」などを行ってきました。後期児童会では、アンケートをとって、みんなからのアイデアや要望を取り入れた「絆づくり活動」を実施する予定です。



3 書記局・各委員会の企画・運営による「絆づくり集会」

「絆づくり」や「異学年交流」を意識した取り組みを行っている専門委員会もあります。

体育委員会の「集会活動(的当て、しっぽ取り)」、広報委員会の「先生紹介」、集会委員会の「ダンス集会」などが、その一例です。書記局では、

1年生と2年生が協力できるようにチームを組んで「絆づくり氷おに」を実施しました。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○様々な制約がありましたが、アイデアを出し合い工夫することで「絆を深める取り組み」ができました。

▲「いじめの根絶」「絆づくり」は、「全員の心をあわせること」と「続けること」が大切なので、続けて働きかけたいと思います。

児童会が中心となって取り組む「仲間づくりプロジェクト」

〈 取組内容 〉

1 仲間づくりプロジェクト第1弾「西小クローバー」

前期児童会で取り組んだ企画です。

全校児童に一人1枚クローバーの形をした紙を配布し、自分が今まで言われて嬉しかった言葉や励まされた言葉、また、こんな言葉を言われたら元気づけられるというような言葉を書いてもらい、みんながよく見える玄関前に掲示しました。

先生達にも同じように書いてもらい、西小全体で取り組むことで一体感が生まれ、子どもたち同士の絆だけでなく、先生と子どもの絆づくりにもよい影響を与えてくれた企画になったと思っています。

今後も、みんなから集めた言葉を児童一人一人が積極的に使い、心の温かい児童が増えることを願っています。

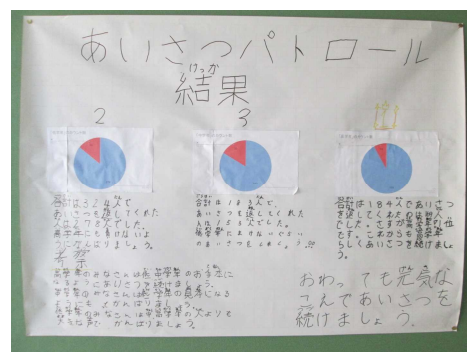


2 仲間づくりプロジェクト第2弾「挨拶パトロール」

前期児童会長の公約でも掲げていた企画です。

前会長の挨拶運動を受け継ぎ、それをパワーアップさせた企画を考え実行しました。

企画の内容は、児童会三役が校内の決まったポイントに立ち、すれ違う人と挨拶を交わします。その時に児童会三役よりも先に挨拶できるかをチェックするというものです。前会長の時に実行した挨拶運動では、元気に挨拶するということは達成されていたので、今度は、相手よりも先に挨拶ができる児童を増やしていくことを目的としました。人間関係作りの基本は、挨拶からです。「相手の目を見て、明るく、元気よく、心を込めて」そして、相手よりも先に挨拶できる児童が増えるよう、西小では今後も継続して挨拶運動に取り組んでいきます。



3 日常的に行っている取り組み

紹介した2つの他に『グッドグリーティング』というものも行っています。毎朝登校時間に合わせ書記局と代表委員が、放送室から音楽を流しながらその日の行事や気持ちよくすごせるような声かけを行ったりしています。

挨拶運動と合わせて1日を気持ちよくスタートできるよう明るい雰囲気作りを目指しています。



〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○相手のことを考えた言葉かけが増え、特に学年での絆が深まった。

○朝の挨拶だけでなく日中も元気な挨拶が見られるようになった。子ども同士での挨拶も増えた。

▲異学年交流ができていないので、今後、他の学年とも交流できる企画を考えていく。

やさしい気持ち、明るい笑顔があふれる江部乙小学校

〈 取組内容 〉

1 おはよう運動

【目的】

朝の元気なあいさつで気持ちのよい一日をスタートさせよう。

【方法】

- ・よいあいさつを事前に全校児童に知らせる。
- ・書記局5名が朝玄関に立ち、あいさつする。
- ・よいあいさつの仕方を書いた紙を提示しながら行う。
- ・毎日、各学年から「目を合わせたで賞」「元気なあいさつで賞」「笑顔で賞」の受賞者を選ぶ。
- ・受賞者をお昼の校内放送で紹介する。



2 全校遊び

【目的】

遊びを通して全校児童と仲良くなろう。

【方法】

- ・書記局と学校委員会がそれぞれ全校遊びを企画する。
- ・書記局は「全校ころがしドッチボール大会」を、楽校委員会は「全校こおりおに大会」を開催。
- ・異学年が交流できる内容にする。



3 なやみごとボックス

【目的】

困っている人が一人で悩まないように、みんなで助け合おう。

【方法】

- ・誰でも自由になやみを書いて投函できる「なやみごとボックス」を設置する。
- ・提出されたなやみごとは先生と相談して解決していく。



4 そらぶちキッズキャンプへの募金活動

【目的】

江部乙にある「そらぶちキッズキャンプ」に協力しよう。

【方法】

- ・そらぶちキッズキャンプについて知ってもらう。
- ・全校のみんなに募金への協力を呼びかける。

〈 成果(○)や課題(▲) 〉

○積極的にあいさつする人や目を合わせてあいさつする人が増えた。

○全校遊び等の取り組みにより、異学年の友達の輪が広がった。

▲異学年での交流の機会をもっと増やす必要がある。

コロナに負けない、学校を明るく元気にする活動

〈取組内容〉

1 「1年生を迎える会」の開催

新型コロナの影響で、学校の様々な集会活動が制限されています。特に全校児童が約500人の大規模校である東小学校は、昨年度は1つも集会活動ができませんでした。縦割り掃除もできなくなり、卒業した6年生にも廊下に貼ったメッセージでしか感謝の気持ちを伝えることができませんでした。そこで、「1年生を迎える会」は、3密を避けながら、短時間の対面でできる活動を考えました。今までのように、全校児童が集まって各学年の出し物発表をするのではなく、各学年がそれぞれ考えたプレゼントを一人ひとりが手渡す方法に内容を変更しました。最初に6年生が1年生にプレゼントを渡す様子を5年生が体育館ギャラリーで見学し、5年生が1年生に渡す様子を4年生がギャラリーで見学するという流れです。体育館の出入口で人と人とが密集しないように動線も工夫しました。

全部で5つのプレゼントをもらった1年生はとても喜んでいて、在校生はそんな1年生を見て嬉しそうでした。準備は大変でしたが、1年生をしっかりと東小の仲間にしたように感じました。



2 スマイル😊プロジェクト～学級のキラリと光る人、または学級のキラリと光るいい話の紹介

お昼の放送を活用してそれぞれの学級の魅力を紹介することによって、お互いの良さを認め合い、もっと明るく元気な学校を目指すことをねらいとして取組を進めました。原稿を書く人は、1～3年生は担任の先生、4～6年生は学級にお任せしました。また、飛び入りで教頭先生も原稿を書いてくれました。毎週1回、児童会役員が交代で原稿を読むだけでなく、私たちからの一言コメントも付け加えました。放送日をわくわく心待ちしたり、紹介された子はクラスのみんなに拍手をもらったりしたそうです。最終回の後、掲示板に感想を書いてもらったところ、「すてきな取り組みをありがとう!」、「心が元気になりました」などの好評な感想をいただき、私たちもねらいが達成されて満足しています。コロナ禍で直接言葉を交わせなくても、温かい気持ちはお互いの心に届くことを感じました。



3 おなやみ掲示板

後期児童委員会の活動で、まだ計画の段階です。

ねらいは、僕たちの協力によって、悩みのある人の気持ちが少しでも軽くなり、明るい気持ちで学校に来て欲しいと思ったからです。やり方は、お悩みボックスを設置し、悩みがある人が投函できるようにします。投函された悩みを僕たちが体育館前の掲示板に貼り、全校児童に解決方法を考えてもらいます。そして、よい解決策や励ましの言葉がある人は、ボックスに投函してもらいそれを掲示板に貼って、全校児童のみなさんにも見てもらおうと考えています。

〈成果(○)や課題(▲)〉

○コロナ禍でも工夫することによって集会活動を実施でき、心のふれあいをすることができた。

○お昼の放送を活用して、お互いの良さを認め合う話をするによって、クラスの仲間意識を高め、明るく元気に過ごすことに貢献できた。

▲いじめをテーマとして、撲滅を目指す取り組みができなかった。

2. 感想交流(参加者による意見交換)

江部乙小学校から関西中学校への感想

いじめ根絶の活動で行動宣言を作って、それを活用したたくさんの取組がとても効果的でよいと思いました。

滝川第一小学校から西小学校への感想

グッドグリーティングの取組が、朝から音楽やその日の行事がわかって、気持ちよく学習に取り組めると思いました。自分たちの学校でも取り組みたいです。

関西中学校から江部乙小学校への質問

今後、異学年交流をどのようにして増やしていきますか。

→全校児童が少ないことをメリットとしてとらえ今後の取組を進めていきたいです。

(江部乙小学校)

滝川第二小学校から江陵中学校への質問

市内生徒会のZOOM会議において、挨拶運動の取組に対してどのような意見がありましたか。

→場所や時間が決まっている学校があり、参考になりました。(江陵中学校)

東小学校から滝川第三小学校への質問

挨拶運動をしていて、困った点がありますか。

→困った点はないが、挨拶が得意な人と得意ではない人がいるので、その点を尊重しながら行っています。(滝川第三小学校)

江部乙中学校から明苑中学校への質問

「みんなが暮らしやすい学校生活」とは具体的にどのような学校ですか。

→相手の意見も自分の意見も尊重できるような学校です。(明苑中学校)

滝川第三小学校から江部乙中学校への質問

緊急事態宣言下でコミュニティ室でのルールや制約はありましたか。

→密にならないように人と人との間隔を空けた上で過ごすようにしていました。(江部乙中学校)

東小学校から西小学校への質問

毎朝、放送で気持ちよく過ごせるような声かけをしているということでしたが、具体的にどのような声かけをしているのですか。

→みんなが元気になれるような声かけをしています。(西小学校)

江陵中学校から江部乙中学校へのメッセージ

来年度、江部乙中学校との統合を控えているので、生徒会活動後期は江部乙中学校との絆づくりに力を入れていきたいです。

明苑中学校から東小学校への質問

スマイルプロジェクトにおいて、各学級が書いた原稿の内容を教えてほしい。

→協力して助け合って生活したり、みんなで仲良く生活したりしているなどの内容です。

(東小学校)

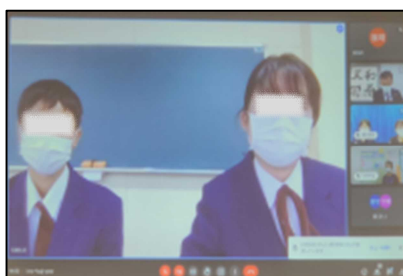
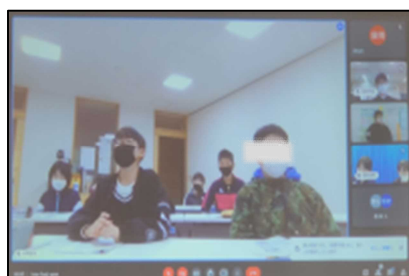
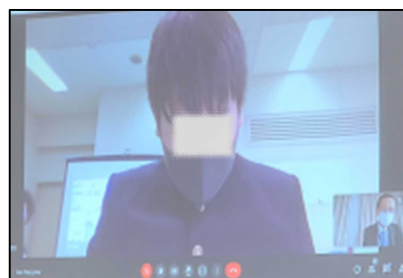
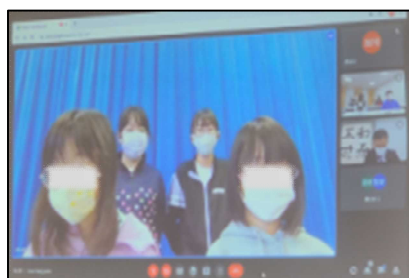
滝川第一小学校から江陵中学校への感想

新入生説明会は小学生にとってうれしい活動です。今後も続けてほしいです。

西小学校から開西中学校への質問

落ち葉拾いボランティアを挨拶運動の時間に取り組んでいるということでしたが、毎日行っているのですか。

→毎日行っています。(開西中学校)



3. まとめ

いじめの防止は何のため？

いじめられる人を出さないため

いじめる人を出さないため



すべての人が気持ちよく生活できるため

いじめの防止の取り組み

いじめを直接テーマとする取り組み

仲間づくりをテーマにする取り組み

4. 講評

滝川市教育委員会 教育長 田 中 嘉 樹

本日、いじめ防止と仲間づくりに向けた自校の取組の発表と活発な感想交流をしてくれた市内小中学生のみなさん、そしてこれまで子どもたちの活動をバックアップしてこられた各校の先生方、大変ご苦労様でした。

また、ご多用の中、会場にお越しくださり、子どもたちの発表・交流の様子をスクリーンを通してではありましたが、御覧いただきました御来賓、保護者のみなさん、大変ありがとうございました。



本市では平成21年度から、全道に先駆けて「子ども会議」という名称で、「いじめ防止」や「仲間づくり」をテーマとした各学校の取組の発表を行ってきました。

平成28年度からは名称を「絆づくり成果交流会」と改め、中学校区において児童生徒のみなさんが事前に直接交流することを通して、お互いの活動を見たり、意見を交換したりするなど、連携の深まりをねらって開催してきたところです。

このような活動を積み重ねることによって、着実に「いじめ防止」や「仲間づくり」の輪は広がってきたものと考えています。

残念ながら、本年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、本交流会の目的である、中学校区においてお互いの活動を見たり、意見を交換したりするといった「連携」については、難しかったと思います。

しかしながら、本日、市内小学校6校、中学校4校の児童生徒のみなさんが、感染症対策で身体的距離を確保しながら、心と心のつながりを強く感じ取ることができるための創意工夫を凝らした様々な取組を紹介してくれました。その取組に感心するとともに、みなさんの堂々と発表する姿には、大変頼もしく思いました。さらにまた一步「いじめ防止」や「仲間づくり」の輪が滝川市全体に広がったように感じています。

さて、みなさんもお存じのとおり、今日においても、残念ながら「いじめ」を苦にした悲しい事件が起こっています。こうしたできごとを目にしたり、耳にしたりするたびに胸が苦しくなります。みなさんの学校では、辛い思いで生活する人が1人もいない毎日を創り上げていてもらいたいですし、仲間同士が強い絆でつながり、いつも笑顔で過ごせる学校を皆さんが中心となって創り上げてもらいたいと思います。

みなさんの「いじめ防止」「仲間づくり」への強い思いには、けっして終わりが無いということを願っています。

最後になりますが、本日参加していただいた小中学生のみなさんには参加賞がありますので、後日、各学校へお送りします。これは、滝川地区保護司会様からいただいているものです。この場をお借りして、お礼申し上げます。

そして、本日、最後までお付き合い頂きました全ての皆様に感謝申し上げ、私の講評とさせていただきます。ありがとうございました。

5. 参加した児童生徒の声

- ・江部乙中学校のコミュニティ室での活動を取り組んでみたい！！
- ・後期の会長になったので、この交流会でのほかの学校の取り組みを後期に参考にしたいと思いました。
- ・色々な学校の取組が聞けてよかったです。
- ・滝川市立江部乙小学校のなやみごとボックスが参考になりました。
- ・「挨拶運動」「いじめ撲滅」は特に多くの学校が行っていて参考にしたいと思った。
- ・江陵中学校さんの、「自分たちで新しく創る」というテーマが受け継がれたものではなく、新たに作るという時代を塗り替える的なものがすごく良かったなと思いました。
- ・いろいろな小中学校から出ていた「みんなにメッセージを貰い掲示する」という取組や、「朝やお昼の校内放送を活用した取組」は、江部乙小学校でも取り入れてみたいなと思いました。そして、あいさつ運動では、江部乙小学校では年に一度しか出来ていなかったため、他の学校のあいさつ運動のスタイルがとても参考になりました。
- ・開西中学校の落ち葉拾いボランティアが参考になりました。
- ・すべての学校の活動が参考になりました。西小学校のクローバーの取組をやってみたい。
- ・他校の取組を知る機会となりました。江陵中学校でも参考にさせていただきます。次はオンラインではなく市役所で交流会をしたいので、コロナが落ち着くことを願っています。
- ・たくさんの小・中学校の活動内容や工夫していることなどを聞いて大変勉強になりました。江陵中学校の活動でも今日、生かしたことを参考に色々な活動をしていきたいです。
- ・西小学校の西小クローバーという企画は、絆を深めるのにとってもいい企画だと思いました。
- ・どの学校も異学年との交流が盛んに行われていてとても良いと思いました。特に、第一小学校の学校あるある川柳が低学年とも共感できるので良いと思いました。
- ・各学校の取組について、あまり知らなかったなので、それぞれの取組について知る、良い機会になった。西小学校の行っている活動が、素晴らしいと思いました。他にも、開西中学校の行っている落ち葉拾いボランティアで、毎日行っている事にすごいと感じました。それぞれ、とても素晴らしかったです。ありがとうございました。
- ・それぞれの学校は挨拶運動など、似た活動をしているものの、個性や工夫があった。交流会の意見を参考にしながら、活動をしていきたい。
- ・開西中学校の朝のあいさつ運動をしながら、外で落ち葉を拾いながら生徒と挨拶するというのも良いと思いました。また、来年度から江陵中学校と統合も控えているので今の江陵中学校の生徒会でどのような取組をしているかを知ることができて良かったです。滝川市の小中学校の児童会、生徒会の新たな活動を知ることができて参考になったので可能な限り取り組んでいきたいです。
- ・滝川市全体の学校でいじめについて活動しているなか江部乙中学校はいじめについての活動をあまり実行出来ていないので改めて考えて行きたいと思いました。自分たちの挨拶運動は前期と同じことをしているので改めて挨拶運動に関して考えようと思いました。今回の「絆づくり成果交流会」で感じたことを江部乙中学校で使用し、江部乙中学校の最後の年を良い学校だったと思えるような学校になってるように改善していきたいと思いました。改めて今回交流出来たのは本当にいい経験をしたなと思いました。
- ・自分にはない発想や受け継いできたものなどを知ることができ良かった。
- ・最初はめちゃくちゃ緊張していたけど後の方は楽しく終わった。

- 明苑中学校の「みんなが英雄プロジェクト」の活動の相手の良いところを出し合うというところが良いと思った
- 挨拶パトロールをやってみたいです。理由は、数で成果を見れるからです！！
- 江陵中学校の挨拶運動のおかげで新しい企画をできそうです（まだ計画段階）江部乙中学校のコミュニティ室での活動も採用したいなーと思いました。西小クローバーも参考になりました。ありがとうございます。
- グッドグリーティングで朝に音楽 が聞けるという取り組みがとても良かったです。
- この交流会で色々な人との交流ができたおかげでたくさんの意見を聞くことができたいいアイデアや提案を見つけることができて良かったです。
- グッドグリーティングという朝から音楽が聴ける取組が参考になった
- 朝に音楽をかける活動や、悩みを相談できる活動が参考になった。
- 江陵中学校の新入生への説明会が小学生からしたらとても嬉しいので良いと思いました。
- 学校の代表として参加することで緊張したけれど、他の学校の活動や取り組みについての交流ができたことで、自分たちと同じようにいじめ撲滅や絆づくりに取り組んでいる学校があることを知り、心強かったです。滝川第一小学校の「挨拶を返してくれた人にシールを渡して貼ってもらう活動」が挨拶をすることがあまり得意ではない人も無理をせずに楽しく挨拶をすることができそうでとても参考になりました。今回、交流できる場を作ってくださって、本当にありがとうございました。
- 江部乙中学校の学年の壁をなくす取り組みがとても参考になりました。今後、またコロナ禍になっても実践することができると思うので、参考にしながら、他学年と触れ合える企画に取り組んでいきたいです。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。
- 江部乙小学校の取り組みで、困っている人が相談できる「なやみごとボックス」を学校に置いているのがとても良いと思いました。「なやみごとボックス」を置くことで、気軽に相談できると思うし、安心して学校生活を送れると思いました。参考にしてみたいと思います。交流会に参加させていただきありがとうございました。
- 江部乙小学校のそらぷちキッズキャンプへの募金活動は滝川を盛り上げようという気持ちが伝わり、参考になりました。また、滝川第二小学校の「はなしあいたいこと・やりたいことBOX」は、色々な学年の意見を取り入れられるので、滝川第三小でも実施したいなと思いました。交流会に参加させていただきありがとうございました。
- 明苑中学校の「いじめゼロのために連携を目指す取り組み」を聞いて、いじめをさせないために頑張っていて本当にすごいと思いました。また、江部乙小学校の「おはよう運動」の事前によいあいさつを知らせる方法も参考にしてみたいと思いました。
- 絆づくり成果交流会に参加した時は、とても緊張したけれど、様々な学校の取組を聞いているうちに「私達もがんばらなくてはならないな。」とたくさん感じる事ができたので参加できて良かったです。ありがとうございました。
- 滝川第一小学校の「あいさつの花」が良かったです。シールをもらう「楽しさ」だけではなく、「いい心」を広げるのが、いいなと感じたからです。私達も、「いい心」を広げられるようなあいさつ運動を続けていきたいです。ありがとうございました。

- 市内のいろいろな学校のオリジナルな取り組みを知ることができて、すごく良い勉強になりました。挨拶運動でも学校によってやり方が違ったりして、参考になりました。どこの学校でも挨拶運動といじめについて取り組んでいて、大切なことなんだとわかりました。
- この活動をして、自分たちの他にも色々な取組をしている人たちがたくさんいて、学びになりました。中学校は、自分たちが来年行くので、とても興味がありました。この活動でわかった他校の活動を今後に生かせるようにしたいです。
- 来年行く中学校の生徒会活動を知ることができて、いいと思った。自分たちが考えた活動を他の学校に伝えて、参考になればと思った。自分達の課題を解決するためにどのようなことをすればいいのかなど東小の活動に足りていない部分のことを知ることができた。
- この交流会でわかったことは自分の学校のゴミひろいやボランティアだけだったけど、他の学校は、地域のボランティアにも取り組んでいてすごいと思った。いじめる人を出したり、いじめられる人が出たりしないように直接いじめについて取り組んでいるところもあって僕も中学校でやりたいと思った。ほかにも色々な学年で、遊べる場所やあいさつを広げるための工夫もされていて良いと思った。このような活動で全校のみんなが仲良くなれるようにしたい。そして、仲間を思いやる気持ちが育つと思った。児童会・生徒会によって活動が一つ一つ違った。
- 絆づくり交流会は、とても良いと思いました。他校のやっている取組や考えを交流し、それを参考にしつつ学校をよりよくできるので、いいと思いました。その中でも、中学校の取り組みは他の学校とはちがうレベルの高い取組をしていてすごいと思いました。
- すごく緊張したけれど、とても良い経験になりました。他の学校の実践や活動を知ることが出来て、参考になりました。参加して良かったです。ありがとうございました。

